

科目名 Subject	絵本と童謡の世界 The world of picture books & nursery rhymes			教員名	織江 りょう	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	×					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
			○	◎	○	
科目の概要	<p>世界の優れた名作絵本や日本の名作絵本、また日本独自の文化所産である童謡の扉を開き、数多くのすばらしい作品にふれることで、その豊かな世界から生きる喜びを見つめます。絵本や童謡には、現代社会に生きる私たちにとって大切な様々なテーマが描かれています。「幸せとはなにか」「ともだちや家族との関係」や「生きることの意味」などとてもシンプルに描かれています。それらをもう一度見直すことで、多様な価値観や考え方を理解し受け入れる能力が身につく、これからの生き方がとても豊かになります。</p> <p>講義は「共感する力」とともに「相手の立場に立って考えることのできる力」等柔軟な思考力が自然と身につきます。講義・実作・合評を通して、そこに描かれた世界を読み解きみなさんとともに考えていきます。本講座では絵本・童謡の知識を広げると同時に、「ものの見方・考え方」「読む力」「書く力」を身につけることができます。</p>					
授業方法	対面授業（ただし状況によりZOOMによるオンライン授業に切り替える場合もあります。）					
授業の目標	児童文学のジャンルである「絵本」や「童謡」の多くの名作絵本や童謡詩人の作品にふれ、その視点や技法を学ぶことによって、自分の感性を生かした言葉で作品にすることができるようになる。					
時間外学習 （予習・復習）	基本的に、各講義終了毎にその講義の内容について感想文を次の講義までに提出する。加えて、実作講義では課題を設定してオリジナルの創作童謡作品を制作し提出する。予習・復習では、1時間から場合によって3時間を要します。					
教科書・教材	教科書	なし				
	教材	なし				
	使用設備・備品	プロジェクター				
	参考文献	金子みすゞ童謡集「わたしと小鳥とすずと」JULA出版局				
評価方法	各授業ごとに提出される感想文50%、作品発表時の作品30%、発表20%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法						
	提出された感想文・レポートにコメントを添えて返却。					
履修上の注意	私語、居眠り、飲食、携帯電話の使用、授業の妨げと判断された場合は成績に影響することがあります。積極的な授業参加が不可欠です。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	「絵本・童謡の世界」－ものの見方・ものごころ－について考える。	絵本・童謡に共通する「ものの見方」を学び、今までと違ったものの見方を感じ、他者に言葉や文章で伝えることができる。	今回の「金子みすゞ」について調べる。作品「大漁」「わたしと小鳥とすずと」他を読み、予習する。1時間を想定。
第2回	金子みすゞの童謡を知る。	金子みすゞの童謡作品に触れ、詩人の世界観から新しい視点を学び、感じたことを述べるができる。	金子みすゞ作品について感想文を時間外学習として提出。（200字以内）2時間を想定しています。次回「まど・みちお」について調べる。
第3回	まど・みちおの童謡を知る。	まど・みちおの様々な童謡作品にふれ、まどみちおの世界観を感じ、自分の言葉で伝えることができる。	まど・みちおの作品の感想文提出。（200字以内）1時間を想定しています。
第4回	佐藤義美、阪田寛夫他の童謡を知る。	昭和童謡の詩人の世界を学び、詩の視点を広げることができる。	前回「まど・みちお」授業をもとに「言葉のデッサン」（指定題）の創作作品の創作課題の提出。2～3時間を想定しています。
第5回	童謡の歴史①童謡の起源を学ぶ。	童謡の成り立ちから現在に至る歴史を知り、童謡の変遷を学び、伝えることができる。	第6回授業児童文学雑誌「赤い鳥」について、添付資料をもとに予習する。1時間程度を想定しています。
第6回	童謡の歴史②雑誌「赤い鳥」を学ぶ。	児童文学雑誌「赤い鳥」で活躍した詩人たちの作品に触れ、それぞれの世界観を学び、他者に伝えることができる。	対象の3大童謡詩人北原白秋、西條八十、野口雨情の作品についての感想文の課題。2時間を想定しています。
第7回	童謡楽しく書こう②比喻、倒置法などの技法を学び、作品を制作する。	今までの講義から学んだ詩の表現方法を理解して、自分の言葉で詩・童謡を制作することができる。	創作上の様々なレトリックを学び、自らの創作の幅を広げる。添付資料の復習。1時間を想定しています。
第8回	童謡楽しく書こう①言葉のデッサン・織江りょう、まど・みちお等の童謡から学ぶ。	今までの講義から学んだ詩の表現方法を理解して、自分の言葉で詩・童謡を制作し、基礎を身につけることができる。	1～7回で学んだ知識をもとに、言葉のデッサン（自由題）の課題を提出する。2～3時間を想定しています。
第9回	言葉のデッサンを作品化する。	今までの講義から学んだ詩の表現方法を理解して、自分の言葉で詩・童謡を制作することができる。	言葉のデッサンをさらに深め、きちんとした作品になるよう課題を提出。1時間～2時間を想定しています。
第10回	作品発表・合評を行う。	創作した作品を発表し、合評することで他者の意見を聞き、自分の作品を推敲し、より完成度の高い作品にすることができる。	テーマによる課題から、発表の振り返りを行う。授業の感想文を提出。1時間～2時間を想定しています。
第11回	作品発表・合評を行い、童謡の授業を振り返り、学びを確認する。	自分らしい感性を生かした創作詩作品を完成させ、人生の中で忘れられない詩・絵本を互いに発表し、価値観を受容することができる。	テーマによる課題から、発表の振り返りを行う。授業の感想文を提出。1時間～2時間を想定しています。
第12回	世界の名作絵本①レオ・レオニ『スイミー』、ルース・クラウス『はなをくんくん』他を学ぶ	世界の名作絵本を広く知り、知識を深め、感性を豊かにすることで、新たな気づきを述べることができる。	12・13回で学習する「世界の名作絵本」リストについて調べ予習する。1時間を想定しています。
第13回	世界の名作絵本②ガス・ウィリアムズ『しろいうさぎとくろいうさぎ』他を学ぶ	絵本における、言葉と絵の関係性を知り、その特性や共通点を学び、述べるができる。	12・13回講義「世界の名作絵本」リストから1作品を選び、感想文の提出。1時間を想定しています。
第14回	日本の名作絵本①新美南吉『ごんぎつね』他新美南吉の童謡について学ぶ	日本の名作絵本①新美南吉『ごんぎつね』他新美南吉の童謡について学び、自分の考えを述べるができる。	14・15回で学習する「日本の名作絵本」リストについて調べ予習する。授業の感想文を提出。1時間を想定しています。
第15回	日本の名作絵本②現代の絵本、内田麟太郎『ともだちや』他を学ぶ。	日本の名作絵本に触れ、登場人物等の心理やその変容から作者の思いを考え、他者に述べることができる。	14・15回講義「日本の名作絵本」リストから1作品を選び、感想文の提出。1時間を想定。また、「絵本と童謡の世界」を受講した感想文の提出する。